

## 中国地方初！リモコンボートで深淺測量

数日かかっていた測量が  
僅かな時間で

今回の現場は、島根県出雲市を流れる新内藤川の浚渫工事。施工するのは、同県に拠点を置く出雲土建(株)様。導入の経緯を、主任の川上真史さんに聞いた。

「従来は作業員がボートに乗って測量していましたので測れる深さは2メートル前後が限界で、効率も良くないので、新しい測量方法がないかと考えていたところに、リモコンボートを使った深淺測量の話を知りました。見えにくい水中の地形を高精度に測量し、ICT建機の施工進捗や土量の変化もKomConnectで把握することが出来る。まさに私たちが求めていた方法でした。試しに使ってみたいと導入を決断しました。」と教えてくれた。実際にリモコンボートを導入して川上主任は、「数日かかる時間を数時間で測量できました。早いだけでなくボートに搭乗することもなく、安全に測量できたよ。」と話した。



建設事業部 土木課 主任

川上真史さん



建設事業部 主任

米田勇次さん

島根県  
出雲土建(株)様

昭和55年創業

「和・誠意・感謝」を  
基本的な考えとし、お客様との信頼関係を築き  
地域社会に根ざした建設会社。

地球環境保全に貢献する事が

企業の重要な使命と捉え、  
「循環型社会」の構築を推進。

リサイクル・緑化事業も

積極的に取り組む。

掲載月:2017年7月

水中でも  
マシンコントロール

PC200iを使用した感想を川上主任に聞いた。「昔からのイメージで、GNSS測量は精度が悪いと思っていたので半信半疑でしたが、使ってみると想像以上の高い精度に驚きました。設計面で制御してくれるので掘り過ぎる心配が無くていいね。」と話した。主任の米田勇次さんは、「従来の中水での施工は、ベテランオペレータでも深く掘り過ぎてしまう事がありました。掘り過ぎた場合は土を戻すために材料費も掛かるし、手間も増えました。ICT建機のマシンコントロールでは、手戻りもなく、オペレータが慣れてくると倍以上のスピードで施工していました。見えない水中だからこそ十分に力を発揮してくれたよ。」と教えてくれた。出雲土建(株)様はKomConnectの画面を事務所のモニタに表示させ、現場進捗をみんなが共有できるようにまた作業員全員にタブレットを渡し、KomConnectで日々の進捗を把握しながら施工を進めたそうだ。最後に川上主任は、「日々の進捗管理も簡単に出来ました。今後も更なる生産性向上を期待したい。」と笑顔で話した。

